

目標を達成したり、苦難を乗り越えたりするために、努力が必要です。ところが、理解していてもなかなか努力できないことがあります。問題解決の方法や目標達成の道筋が明確であっても、実行に移せない場合があります。

例えば、体重を減らしたいと常に言っている人がいます。減量するには、日常的に運動をしたり、食事の量を減らしたりすれば良いことは分かっているはずですが、しかし、実行しないのです。なぜなら、「痩せたい」という思いが、何もせずにそうなれば良いという願望に過ぎないからです。

実は、努力という行動に移る前に、それを必ず成し遂げるといふ信念や意志を固めることが重要です。

『万人幸福の栞』の第十五条「信ずれば成り、憂えれば崩れる」には、信念の重要性について「事をなすの根本の力は信念である」と述べられています。

何かを変えたいと願う時には、必ずやり切ることを心に決めることが大切です。それこそが事を成すということです。

加えて『栞』の第十五条には、信念を固めるための三つのアプローチが記載されています。

(一) 決心：今まででなかった事をこうしよう
と信念を定める。

今まで行なっていなかったことを行なう、もしくは今行なっていることをやめて、新たなことに取り組み決意を固めることです。



前向きな信念が 自らの運命を拓く

(二) 誓い：人と人とは、また人以外のものと結び合つて信念をかためる。

自分自身の中で決めたことを、他者との結びつきによつてさらに強固にすることで。例えば、人前で宣言したり、目標を目に見える形で残したり、日々天に誓つたりすることです。

(三) 祈り：神にすがつて信念を確立し、大宇宙の大信念と一致しようとする。

偉大なる力に祈りをもって力添えや導きをお願いし大自然のより良くなるうとする流れに身を委ねることです。

こうして信念を固め、努力を重ねることで、心の通りに状況や環境が変わるのです。

▼ Yさんは学生時代から二十代での結婚を望んでいましたが、なかなか良縁に恵まれませんでしたが、そこで先輩に相談すると、三つの実践を提示されました。

(一) 結婚までの日程を決める。(二) それを紙に書いて目に付くところに貼る。

(三) 墓前でご先祖様をお願いする。

早速取り組んでみると、漠然としていた結婚に向けた努力の方向性が明確になり、自分から積極的に出会いを求めて動き出しました。その結果、一年も経たないうちに相手が見つかり結婚することができました。

前向きな信念は積極的な努力を喚起し、プラスの運命を引き寄せます。逆に心配は、心配した通りの結果を招きます。心には環境を変える力があることを知り、その力により良い環境を手繰り寄せましょう。